



住吉大社 ~初辰まいり~

初辰とは…
毎月最初の辰の日

商売発達のために遠方から訪れる人も多く、早朝から大勢の参拝者でにぎわいます。
種貸社、楠珥社、浅沢社、大歳社の四社をそれぞれにお参りするのが慣わしとなっています。



②『種貸社(たねかしや)』

商売繁昌を願う大阪人の参拝でにぎわいます。お祓いを受けた「種銭」を授かり、それを商売の元手に加えて「一粒万倍」を祈願します。資金調達・子宝安産の神様。



子宝のお守り
「種貸人形」▶



④『浅沢社(あさざわしゃ)』

「弁天さん」と呼ばれ、福の神・女性の作法・芸事の守護神。この付近は古くから池沼が多く、かきつばたの名所として万葉集にも詠まれており、往時を偲ばせる「かきつばた苑」があります。住吉大社の境外末社。



かきつばた▶



③『楠珥社(なんくんしゃ)』

4年間で48ヶ月、毎月欠かさずお参りを続けると商売が「始終発達」といわれ、社頭では「招福猫(招き猫)」を授与しています。樹齢約800年のクスノキの老木が目印。



左手挙げが
「人招き」
右手挙げが
「お金招き」▶



⑤『大歳社(おおとししゃ)』

収穫の神であるところから、集金満足・商売繁昌・家内安全・諸願成就に神徳があります。拝殿右横の石柱にある丸い石を「おもかる石」と呼んでいます。住吉大社の境外末社。



重さの感じ方で願いの
成否を占う「おもかる石」▶

各スポットの場所はP9に記載してあります。